



多摩ニュータウン 財団住宅展示場

'81・4/23 オープン

フライングコミュニティフェアTAMA'81に協賛し、財団と日本経済新聞社が主催して開設準備を進めていた多摩ニュータウン・財団住宅展示場は見事に完成、4月23日コミュニティフェアと同時にオープンした。

快晴にめぐまれたこの日正午から展示場内センターハウスで開場式が行われたが、式次第次の通り。

- 一、開会の辞 財団高橋専務
- 一、主催者挨拶 財団高橋専務
日経青木事業局長
- 一、来賓祝辞
日本住宅公団理事 救仁郷 斉氏
多摩市助役 石坂隆叙氏
- 一、乾杯 出展参加社代表

この財団展示場の特色は、「見る・学ぶ・相談する」というスローガンが示すように、単なる住宅展示にとどまらず、あらゆる住宅情報がそこで得られるように企画・運営されることにある。

見る——日本の代表的優良住宅メーカー13社15棟の最新モデルハウスと、外構植栽に工夫をこらした街並みを見ることができる。

学ぶ——住宅セミナーの開催、住宅カタログコーナー、ハウジングライブラリーの設置、住まいづくりの工程写真の公開などにより、ハウジングのノウハウを学ぶことができる。

相談する——住宅金融公庫の説明会、建築設計や税務などに関する住宅相談会を随時開催するのでそれぞれの専門家に相談することができる。

「見る」対象としてのこの展示場の特色は、道路に面した家並みの景観の美しさにある。それは各モデル住宅自体のデザインの良さに加えて、建物前面道路側の外構植栽等の設計デザインについて次のような工夫がこらされているからである。

- (イ) 各宅盤前面2mを芝で統一
- (ロ) アプローチ部分は6㎡で統一
- (ハ) 建物前面は道路境界より3・8m以上を外壁後退線とする
- (ニ) 道路側の植栽は高さ・巾60cmの植栽で統一
- (ホ) 隣地境界の生垣は高さ1・2m巾0・8mとする

また、展示場内は地下配線として電柱が見えないことが、街並みを美しくすることを実証している。

財団住宅展示場出展参加社

(社名横は展示建物延床面積と工法)

- 小堀住研株式会社
- 148・14㎡・木質系プレハブ
- 殖産住宅相互株式会社
- 149・88㎡・在来木造
- 西武不動産株式会社
- 144・07㎡・ツーバイフォー
- 積水化学工業株式会社
- 148・57㎡・鉄骨系ユニット
- 155・05㎡・鉄骨系ユニット
- 積水ハウス株式会社
- 142・22㎡・鉄骨系プレハブ
- 大成建設株式会社
- 164・6㎡・コンクリート系プレハブ
- 大和ハウス工業株式会社
- 116・33㎡・鉄骨系プレハブ
- 東急不動産株式会社
- 149・57㎡・在来木造
- 東芝住宅産業株式会社
- 123・38㎡・鉄骨系プレハブ
- ナショナル住宅建材株式会社
- 152・42㎡・鉄骨系プレハブ
- ミサワホーム株式会社
- 119・07㎡・木質系プレハブ
- 107・68㎡・ハウス55
- 三井ホーム株式会社
- 115・92㎡・ツーバイフォー
- 三井木材工業株式会社
- 164・16㎡・在来木造